

1 基本情報

事業名称	第20回東区民まつり事業		
事業目的	区民の親睦と連帯、並びに健康意識の高揚を図る。 また、区民相互のコミュニティ活動の輪を広げることにより、明るく住みよい、安全・安心・快適なまちづくりの推進の一助とする。		
事業概要	初芝体育館・野球場において東区の歴史・文化に関する〇×クイズ、テラノサウルスレース、バスケットボール3x3大会の開催、地域の人達が協力し出店する模擬店、からだチェックコーナーなどこどもから高齢者まで幅広い世代が楽しめるさまざまな催しを、地域との協働（実行委員会）により実施。		
実施主体	東区民まつり運営委員会	実施場所	堺市立初芝体育館、野球場
実施時期	令和7年5月11日（日）		

2 設定指標

活動指標	来場者数		R4	R5	R6	R7
		目標	新型コロナウイルスの影響により中止	20,000人	25,000人	25,000人
実績			21,000人	24,000人	26,000人	
成果指標	市民意識調査における地域行事等の活動が活発なまちだと感じている人の割合（東区民回答分）		R4	R5	R6	R7
		目標	-	-	-	60%
		実績	50%	54%	50%	-

3 事業評価

決算額 11,539,260 円 (区域まちづくり事業負担金：10,987,000 健康の集い事業負担金：552,260)

①妥当性	◎	②費用対効果	○	⑤総合評価	◎	評価基準
東区で開催する最大規模のイベントであり、この事業を通して区民の親睦と連帯の高揚や、安全安心、また地域の魅力等を再発見する貴重な機会となる。今後も継続して実施する妥当性が高い事業であった。		多様な催しを実施したことで、幅広い年代が参加できるイベントとなり、高い集客効果を得られた。 また当日の運営は多くのボランティアに協力をいただいており、各出展ブースも自主的に運営するなど費用対効果の高い事業となった。		本事業は、世代を問わず多くの区民が参加できる多彩な催しを実施したことにより、区民同士の交流や親睦を深め、連帯感の醸成に大きく寄与した。 更に、校区自治連合会、関係団体、行政機関など多様な主体との連携により、地域のつながりを強化し、コミュニティ活動の輪を広げる契機にもなり事業目的に沿った事業となった。		◎：非常に高い水準で達成 ○：十分な水準で達成 △：達成度が限定的 ×：達成されていない －：評価対象外
③庁内・公民等連携	○	④区の計画への寄与度	◎			
校区自治連合会や関係団体、行政機関など多様な主体が連携し、事業内容の充実を図り効果的な事業となった。		多様な主体が連携し、こどもから高齢者まで幅広い世代が楽しめる事業を実施することで、区民の親睦と連携を深め、世代を超えた出会いや交流の機会を創出し、地域の魅力向上や活性化に大きく寄与している事業となった。				

4 課題と対応方針及び今後の方向性

課題	天候によって仕様が異なるため、事業内容や出展内容を工夫・検討する必要がある。 毎年多くの出展希望があり、会場のキャパシティが一杯になってきているため、今後はいかに区民のニーズや事業目的にあった出展内容とするかの精査が必要となってくる。	今後の方向性	継続
対応方針	より来場者から好評をいただけるよう今後も東区民まつり運営委員会を中心に企画・立案を行う。		